

# 電柱耐震開発品 TDシリーズ

販売  
興和化成(株) 03-6384-7158

## ① TDクルーン

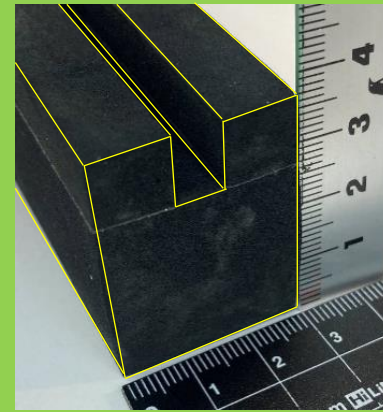
※特許取得済



狭隘箇所を鋼管ユニットを簡単に設置

## ② TDストッパー

※特許取得済



鋼管ユニット設置  
直後にモルタル充填が可能

## ③ TDスパーサー

※特許取得済



モルタル充填後のモルタル流出防止

## ④ TDガード

耐震補強施工マニュアル対応品 ※特許出願済み



鋼管ユニットモルタル打設の冬季施工が可能

# 【使用上のご注意】 ※必ずお読みください

## ① TDクルーン

- 1.本製品は電化柱耐震補強用の鋼管ユニットを吊り上げ・回転 設置させる治具のため、上記以外での使用は行わないようにしてください。
- 2.本製品を使用する前に点検を行い、破損・変形・溶接接合部の亀裂などの異常がある場合は使用しないでください
- 3.最大吊り荷重は240kgです(Φ450mm鋼管ユニット相当)  
※吊り上げ治具1本あたり120kg
- 4.電化柱へ本製品を取り付ける際に使用するボルトの締め付け力は「72.3N・m」とします。(M16 強度区分4.8)
- 5.電化柱の外径が小さく、本製品の固定状態が緩い場合は、本製品と電化柱の間に数ミリ程度のゴムシートを挟み込んで設置してください
- 6.鋼管ユニットを吊り上げ・回転・設置する時は、手足を挟まないように注意してください
- 7.鋼管ユニットを回転させる時は、吊り上げ治具の車輪がレールから脱輪、脱落しないよう、注意しながら行ってください

## ② TDストッパー

- 1.本製品は納入後6ヶ月以内に使用してください
- 2.本製品取付け時は、ねじれ、ゆがみ、脱落などの無いようにしてください(事前に基部の不陸整正を推奨)
- 3.本製品を鋼管ユニットに取り付けた状態で生じた余長部分はカッター等で切断してください(接続部は線路側を推奨)
- 4.モルタル打設から硬化までの間、鋼管ユニットの頂部をTD スペーサー等で固定してください(モルタル漏出防止対策)
- 5.鋼管ユニットモルタル硬化後、鋼管ユニットからはみ出ている部分については、手の届く範囲でカッター等を用いて除去してください(鋼管ユニット内部に残る部分については存置)

## ③ TDスペーサー

- 1.本製品は鋼管ユニットと電化柱との隙間を固定する治具のため、上記以外での使用は行わないようにしてください。
- 2.本製品は線路側に2箇所取付け、それぞれの設置間隔は120° ~150° で行ってください
- 3.本製品はモルタル硬化後撤去し、設置跡については無収縮モルタル等で補修してください

## ④ TDガード

- 1.本製品は電化柱耐震補強用の鋼管ユニットモルタルの冬季養生用の治具のため、上記以外での使用は行わないようにしてください。
- 2.本製品を使用する前に点検を行い、破損・変形・溶接接合部の亀裂等の異常がある場合は使用しないでください。
- 3.鋼管ユニットへ本製品を取り付ける際に使用するボルトの締め付け力は「42N・m」とします。(M12 強度区分4.8)
- 4.本製品の適用は、施工時及び施工後3日間の外気温が-5℃~0℃になると想定される場合になります。
- 5.鋼管ユニットモルタルの材料は、デンカハイプレタスコン Type-Hと同等の材料を使用して下さい。
- 6.鋼管ユニットモルタルの練り上がり温度は5℃~20℃とします。
- 7.鋼管ユニットモルタル打設前の鋼管ユニットは5℃以上に保温してください。
- 8.使用する断熱材は、ポリエチレンフォームとし、厚さは10mm以上で熱伝導率は「0.040w/(m・k)」のものを使用してください。
- 9.養生期間は3日以上行ってください。